

令和 2 年度第 3 回区政会議における防災専門会議に関する意見要旨

- 1 日 時 令和 2 年 12 月 8 日（火）午後 6 時 30 分から午後 7 時 30 分
- 2 場 所 住吉区役所 4 階 大会議室
- 3 出席者
(委 員) 松木議長、山下委員、有村委員、今西委員、大久保委員、岡本委員、金沢委員、
小嶋委員、島谷委員、友永委員、中西委員、野村委員、濱田委員、原田委員、
前川委員、山崎委員
(区役所) 区長、副区長、各課長
- 4 議題
 1. 令和 3 年度住吉区運営方針（素案）について
 2. 令和 2 年度住吉区運営方針の改定について（新型コロナウイルス感染症対策等によるプロセス指標等の変更）

5 主な意見

(1) 令和 3 年度住吉区運営方針（素案）について

委員意見

- ・災害時要援護者支援台帳登録者への訪問未実施地域への働きかけについて、町会に入っていない方が多い地域もあるので、町会役員だけでなく民生委員にお声がけすれば良いと思う。
- ・また、年 1 回の訪問の折などに、ご自身の状況の変化の有無を返信できるようなハガキを留守宅に投函するのはどうか。会えない方や電話に出ない方もあり、訪問する方が心配しているので、ハガキから得た情報を伝えるなどの情報交換が大事だと思う。

【対応方針】

- ・すでに民生委員が見守り活動等に参加している地域や民生委員との連携を検討している地域もあり、今後とも、町会未加入者への対応などに民生委員の協力を得られるよう働きかけてまいります。
- ・顔の見える関係作りのために、年に 1 度は直接お会いして状況をご確認いただくこととしていますが、ご指摘のとおり、自宅訪問や電話をしても、詐欺の可能性を心配する等して応答しない方がいるという声もあるため、状況確認のためにハガキの返信を求めるという方法についても検討してまいります。

委員意見

- ・コロナ感染リスクの高い疾病・持病を抱えている要援護者に対しては、避難時に更なる感染防止対策が必要である旨の災害時要援護者支援台帳・個別支援プラン等への記載が必要ではないか。

【対応方針】

- ・災害時要援護者支援台帳には要援護者の氏名・住所・緊急連絡先などを記載しており、合わせて保管している同意書に医療情報が記載されています。
- ・個別支援プランには避難所などでの具体的な配慮事項や治療中の病気、治療内容、使用薬・用量、使用している医療機器などの記載欄を設けており、コロナ感染防止対策としての配慮にも資する記載がされています。

委員意見

- ・区役所をはじめ、連合・町会などで防災訓練を行っていることにより、防災意識や被災時の対応力、被災時に向けた準備が年々向上していることはいいことだと思う。
しかし、プロセス指標「ここ1，2年お住まいの地域の防災力が向上したと感じている区民の割合」について、令和元年度の実績は43.6%であり、区民の56.4%は地域防災力に対して向上したと感じていないということなので、地域防災力が向上していると感じない人たちの意見を聞いて早急に対策を講じ、地域防災力が向上したと言ってくれる割合をが100%に近づくようにしなければならないと思う。
そのためにも、現状分析が重要であると思う。

【対応方針】

- ・当区としても、昨年度の当該指標の実績に鑑み、地域防災力が向上していると多くの区民が感じられるよう、対策を講じなければならないと考えている。
令和3年2月に実施予定の区民意識調査を用い、地域防災力が向上したと感じていない原因について分析し、対策を検討していく。